

平成 30 年 2 月 10 日(土)に“保健師職能交流研修会”を開催しました。

「保健師としての私にとっての“地域包括ケア”」をテーマに、ミニシンポジウム、その後、保健師カフェで交流を深めました。昨年度に引き続き、産業分野からも多くの参加をいただき総勢 43 人で非常に盛り上がり充実した時間となりました。

ミニシンポジウムは、最初に、山口県の産業保健師の草分けとして活躍してこられた坂本美知子さんから、「産業保健師と地域包括ケア」と題して御講演をいただきました。坂本さんが歩んでこられた活動やそこに込めた思いに触れ、保健師活動の原点を改めて考える、聞く者の胸を熱くするお話でした。



続いて、萩市健康増進課の河上屋里美さんからは「地域包括的な連携の試み～萩市健康維新のまちプロジェクト～」と題して、まちづくりのプロジェクトに、保健師の得意分野である“巻き込み”を生かし、全庁横断的に取り組まれたお話をいただきました。「よい仕事には目に見えない根の張りがある。“良樹細根”」という言葉は印象的でした。

お二人ともに、日ごろからの分野を超えたつきあいや、活動の積み重ねが地域包括ケアにつながっている、と話されたことが印象的でした。そして何よりお二人からは、熱意とともに、楽しく、いきいきと活動されている様子が伝わり、明日の仕事へのエネルギーをいただいた時間になりました。



#### 参加者の感想(アンケートより抜粋)

- 地域包括をイメージできる機会になった。誰のため、何のために取り組むかを常に考えて活動していきたい。(30 代事業所)
- 根本は同じ“保健師”ということで力強さを感じた。これからはひとまず、一步踏み出してみようと思う。(30 代市町)
- 様々な分野で活動している保健師同士で語れてよかった。今日、つながった縁を大切にしていきたい。(30 代市町)
- 保健師の役割をしっかりと伝えて実行していくことが大切だと思った。(30 代病院)
- 保健師カフェがラクに話せて良かった。(50 代市町)
- 情報交換するだけと言いつつ、考え方の整理ができていく過程がわかった。(50 代市町)

最後は、「保健師カフェ」と題して、お菓子をつまみ、飲み物で喉を潤しながら、グループに分かれてざっくばらんに情報交換を行いました。講師からの熱いメッセージを受けて、各グループとも熱気にあふれ、活発に情報交換が行われていました。普段の現場では、なかなか交流の機会の持てない、地域、職域で働く保健師の情報交換は非常に盛り上がり、それぞれの置かれた立場での課題や共通する課題を共有し合い、知恵を出し合い、連携、協働の一步である、顔の見える関係づくりのきっかけになっていたようでした。